所属：奈良工業高等専門学校　一般教科

研究タイトル：

言語習得過程における統語構造の発達



氏名：	道本　祐子　／　MICHUMOTO, Yuko	E-mail：	michimoto@libe.nara-k.ac.jp
職名：	准教授	学位：	修士
所属学会・協会：			

キーワード：	統語構造、言語習得
技術相談 提供可能技術：	・学校等を対象にした教育相談（出前授業やセミナー等）

研究内容：

- L2 理論「処理可能性理論」にもとづく言語習得過程の実証研究
- 言語習得過程に見られる学習者の誤用分析

Pienemann(1998, 2011)の提唱する「処理可能性理論」においても、すべての外国語学習者が「同じ発達段階」を経るとされており、近年この理論は多くの実証研究によって支持されています。この理論の妥当性を検討するため、日本人EFL学習者を対象に実証研究を行っています。

Table 1. ESL acquisition based on Processability Theory (cf. Pienemann, 2011) (Michimoto, 2015)

Stage	*Syntax*	*Morphology*
6	Cancel inversion	
5	Do – 2nd Aux – 2 (Negation - do 2nd)	3rd person singular *–s*
4	Yes/no inversion Copula inversion Pseudo-inversion (Particle shift)	
3	Do- fronting Adverb-fronting Wh-fronting Negation -Verb	plural agreement
2	Negation -SVO canonical word order (SVO)	past-*ed*, plural -*s*, possessive *–s*
1	Single word Formulae	

提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）	